

専門学校東京 CPA 会計学院

学校関係者評価報告書

令和 5 年度

実施日 令和 6 年 5 月 19 日

※令和 5 年度学校自己評価（基準日：令和 6 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

令和5年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。令和2年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を実施しております。

本校との関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様 や会計・教育等に見識をお持ちの方々に学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

校長・学校評価委員会委員長

高橋 淳二

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生、会計関連業界団体・企業等3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前に示し、令和6年5月19日に、卒業生、会計関連業界団体・企業等の委員にご参集いただき、令和5年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和5年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人 R I Z E 代表社員 税理士 田口益巳

協立管理株式会社 代表取締役 荒川 隆志

土屋会計事務所 税理士 熊崎富久夫

学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人 R I Z E <http://risetax.jp/>

協立管理株式会社 <http://www.kyoritsu-kanri.co.jp/>

土屋会計事務所 <https://tcy-tax.com/>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01~05】理念・目的・育成人材像

評価者意見・質疑

- 教育産業は、苦しい所と順調なところとに二極化しているように思う。
- 少子化が進むなか下で、専門学校運営は大変厳しい環境と聞いている。教育理念は大事であるが、それを裏付ける実績を出せないと説得力がなくなる。
- 高等課程の生徒募集の状況、実績はどのようになっているか。
- 新型コロナウイルス対応を終えて、授業のやり方を変えているか。
- 税理士試験の受験者減少傾向にある。CPAでは依然として税理士志望者が多く、これからも税理士だけでよいのか。公認会計士も推す必要があるのではないか。
- 就職状況はどうか、人手不足で売り手市場と聞いている。
- 会計のスキルだけではなく、PCスキルも指導をしているか。
- コロナ禍で募集環境も、就職環境も様変わりしたようだが、変化に臨機応変に対応してほしい。

学校からの回答

当校は、次世代を見据えた学校体制の構築を目指し、高等課程「会計エレメンタリー科」を開設したものの、募集の状況は芳しくない。しかし、第一期生が着実に教育成果を上げ、税理士試験3科目合格（簿記論、財務諸表論、法人税法）という実績を出すことができた。ただ、報道各社に取材を打診したところ、出身地の静岡新聞のみの取り扱いしか受けられなかった。訴求力としては弱く、まだまだ社会での認知度を高めていく余地はある。

なお、今期はあずさ第一高等学校との教育提携契約を締結し、令和6年度からの高等課程入学者は高卒資格も取れるような形となった。これから、中学校卒の生徒たちに向けて、新しい進路選択肢として、アピールしていく。

コロナ禍を経て、教育現場も変化が生じている。リモート授業が一般化して、通学がそれほど重要視されない時代になった。しかし、当校は通学に価値を置いている。その点について、通学学習のメリットを強く遡及していかなければならない。

専門学校をとりまく経営環境は依然として厳しく、学校経営が難しい時代になっている。当校が社会に対してどのような貢献ができるのかを問われている。高度な会計スキルだけではなく、ITやAIに関する知識も授け、さらに、教養及び人間力教育に力を入れていく。

また、企業等の環境も変化している。新卒市場は人材難から売り手市場になりつつある。そもそも就業意欲が低い若者が増えている状態であるので、就職指導も色々な工夫を求められている。就職に向けての動機付けから丁寧な指導を心がけたい。

基準 2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【2-09】人事・給与制度

評価者意見・質疑

教職員は一生懸命働いているように見える。政府の賃上げ要求もあるなか、教員の給与待遇は改善しているのか。

学校からの回答

財務体質に問題はないものの、経営環境の厳しさは依然として続いていくと予想する。教職員の貢献に応じるべき、昇給や賞与査定の面で、可能な限り賃上げできるように配慮している。

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 3 教育活動

点検項目【3-14~19】目標の設定

評価者意見・質疑

簿記検定や国家試験の合格率が下がっているように見えるが、目標設定や指導方法などに問題はないのか。

学校からの回答

簿記・会計の指導に関しては、学生の習熟度に大きな差が出る傾向がかつてに比べて強くなっている。クラス編成などを通じて、かつてのように全員に日商 1 級を受験させることはせずに、2 級でもよいとし、落ち着いて学習し、理解度を高められる工夫をしている。

また、放課後のフォロー体制においても、配慮するように心がけている。。

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

点検項目【3-23~26】資格取得等の指導体制

点検項目【3-27】教員研修等

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 4 学修成果

点検項目【4-28~32】就職率・資格取得率等

評価者意見・質疑

コロナ禍を終えて、世の中の就職環境は大きく変化した。学生たちの意識も変わっていると思うが、どんな状況になっているか。

税理士業界は人手不足の状況にあると言われている。業界説明会の状況はどういう雰囲気になっているのか。

学校からの回答

就職環境については、Web 面接なども一般化し、エントリー方法のバリエーションも増えた。求人動向としては非常に好調であるが、学生の意欲との兼ね合いが難しいところである。売り手市場という雰囲気があるが、誰もが簡単に採用してもらえないというわけではない。やはり、個人の資質を高め、それをしっかりアピールしていかないと、希望の就職は難しい。

業界説明会はお陰様で好評を得ている。特に税理士事務所等については、優秀な学生の確保が急務と感じる。事務所や税理士法人でそれぞれ特色があるので、学生の希望とマッチングさせていくことが肝要である。その点、学生と事務所等の方とが直接相談できるこういう機会は大変重要であると考えている。

点検項目【4-30】 退学率の低減

評価者意見・質疑

CPAの退学者低減の努力はどうやっているか。

学校からの回答

当校の学生の退学の原因としては、主に精神面の問題があげられる。そこで、性格診断などの時期を早め、早期に学生の特性を捉え、メンタル面でのサポートができるように工夫を行った。また、スクールカウンセラーの依頼も考えているが、なかなかよい人が見つからない状態である。これからも探していく。

税理士や公認会計士を目指して入学した学生において、理想と現実とのギャップが生じ、不満を示す形で退学する学生もでている。これは、入学相談時の説明不足と思われるため、入学前により一層丁寧な説明をするように広報担当者との改革を進めている。

点検項目【4-31~32】 卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準5 学生支援

点検項目【5-33】 就職等進路

評価者意見・質疑

人材募集として貴校に学生の紹介を依頼しているが、なかなか紹介がない状態が続いている。もう少しどうにかならないものか。

学校からの回答

企業様、会計事務所・税理士法人様を中心に多くの引き合いをいただいている。しかし、学生数が少なく、皆さまの期待になかなか応えきれない状況にある。特に、最近の学生は、就職先は自分で決めるという傾向が強く、学校からの就職先紹介を望まないケースが増えている。企業説明会に参加していただき、貴社・貴事務所のアピールをお願いする次第である。

点検項目【5-34】 学生相談

点検項目【5-35~38】 学生生活

点検項目【5-39】保護者との連携

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-40~43】卒業生の支援、社会との連携等

評価者意見・質疑

転職希望者のサポート体制の構築は、CPA キャリアサポートとの連携を進めるという話であったが、進展はあったのか。

学校からの回答

グループであるCPA キャリアサポートとの連携は始まっている。業界説明会などに同席してもらった。具体的な転職者の支援実績は少数である。これからも強化していきたい。もちろん、今まで通り、個別に卒業生からの転職相談を受けている。

基準6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備等

評価者意見・質疑

今年、外壁の大規模修繕工事を実施したと聞いた。実施するのは早いのではないか。

学校からの回答

当校校舎は2009年完成で、今年で丸15年経過したことになる。普通に利用している分には、外観的には劣化は見えない状態だったが、屋上などの防水層はかなり劣化していた。この時期に実施したのは妥当であったと考えている。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

評価者意見・質疑

インターンについて消極的である状況と、その理由に変わりはないか。

学校からの回答

当行としても学生にインターンの経験を積んでほしいと思う面はあるが、どうしても2年制の専門課程のカリキュラムにおいては、注力すべきものを絞らざるを得ないところがある。簿記・会計の専門科目の修得と就職活動の両立だけで精一杯である。

点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-47~49】学生募集活動

評価者意見・質疑

学生募集は苦戦していると聞いている。他校を参考にして学生募集活動を改革してはどうか。

学校からの回答

少子化の中で、各学校が学生募集をそれぞれ工夫している。他校のやり方も参考にしたいところであるが、当校は独自の指導方針を売りにしているため、安易に他校に倣うことは難しい。かといって、旧来のまま変わらない方法でいいとはならない。最近の高校生は SNS を多用しているため、時流を捉えて、SNS による広報も強化していきたい。

点検項目【7-50】学生学納金

評価者意見・質疑

家庭の財政難から学納金の滞納は発生していないか。

学校からの回答

高等教育の修学支援金制度等により、学納金の負担は大きく減少している。特に、経済的に厳しい家庭の方が支援は厚いので、カバーされているように思う。今期も目立った滞納等は発生していない。

基準 8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-60】ボランティア活動

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 11 国際交流

点検項目【11-62~65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。

以上

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

〒164-0001 東京都中野区中野 3-39-9

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

経営企画部